

専門医資格更新のための研修と単位数一覧（臨床遺伝専門医制度施行細則第9条（2））

		単位数	備 考
研修集会出席 （学術集会、研究会、セミナー等） ※ネームカード、単位シール、受講証、修了証等、参加証明書が必要	日本人類遺伝学会 日本遺伝カウンセリング学会	10	各学術集会毎
	日本先天代謝異常学会 日本小児遺伝学会 日本遺伝子診療学会 日本先天異常学会 日本家族性腫瘍学会 日本遺伝子治療学会 日本産婦人科遺伝診療学会(2015年より認定)	5	各学術集会毎
	日本医学会総会	8	各大会毎
	染色体研究会 出生前診断研究会（各地） ＊委員会が認定したその他の臨床遺伝関連学会・研究会・セミナー（別資料参照）	3	各研究会毎
	International Congress of Human Genetics American Society of Human Genetics American College of Medical Genetics European Society of Human Genetics	8	各学術集会毎
	East Asian Union of Human Genetic Societies (EAUHGS) 精神科遺伝学世界会議(WCPG)	5	各学術集会毎
	その他の国際的臨床遺伝関連学会出席	5	学会プログラム・参加証（コピー可）等を添付し、委員会で適切と認められた場合に単位を認定する（各学会毎）
	遺伝医学セミナー	10	
	日本人類遺伝学会 Education Program	1～2	各セッション毎 1学術集会あたり4単位まで
	遺伝医学セミナー入門コース	8	
	臨床細胞遺伝学セミナー	8	
	遺伝カウンセリング研修会	12	
	遺伝カウンセリングアドバンストセミナー	8	
	家族性腫瘍セミナー	8	同一内容を年2回。カウントは1回分のみ
	遺伝カウンセリングロールプレイ(GCRP)研修会	3 ※7	※暫定制度利用の合格者
	その他、委員会が認めた研修会参加 （事前に委員会への申請・承認が必要）	3	研修会プログラム・参加証（コピー可）等を添付する（各研修会毎）

業績発表	** 日本人類遺伝学会および日本遺伝カウンセリング学会での一般演題の筆頭者 および corresponding author	3	各演題毎
	** 学会での遺伝医学に関連する演題発表	5	学会プログラム・演題抄録（コピー可）を添付し、委員会で適切と認められた場合に単位を認定する。（例：日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本神経学会で遺伝医学に関する演題を発表する場合等）（各演題毎）
	臨床遺伝関連学会での特別講演、教育講演、シンポジウム、セミナー、研修会等の講師	5	各行事毎
	臨床遺伝関連専門誌への論文掲載 筆頭者または Corresponding author	8	遺伝医学に特化した雑誌ではなくても、執筆内容が遺伝医学に関連したものであれば認める。
	臨床遺伝関連専門誌への論文掲載 Corresponding author 以外の共著者	3	遺伝医学に特化した雑誌ではなくても、執筆内容が遺伝医学に関連したものであれば認める。
遺伝医療の実践	適切な遺伝医療の実践	必須 30	遺伝医療を行った15症例のリスト。そのうち、3症例の詳細も提出
	遺伝カウンセリングの実践	最大 20	症例の要約。1症例につき2単位とする。10症例まで記入可。 （適切な遺伝医療の実践との重複不可）

* 「委員会が認定したその他の臨床遺伝関連学会・研究会・セミナー」は随時追加していく予定。
随時、臨床遺伝専門医ホームページの「専門医資格更新のための研修と単位数一覧」、年間の研修会開催一覧表を確認すること。

- **
- ・ 指導医資格のない専門医が更新の場合は筆頭演者のみ加算（共同演者は加算不可）。
 - ・ 指導医更新の場合は Corresponding author も加算可。